

科目		単位(時間数)	時期	講師名(職名)(時間数)	
※ 助産診断・技術学Ⅲ		2(45)	1学期	① 並崎 直美 (助産師) (11)	(11)
				② 川上 起久子 (助産師) (10)	(10)
				③ 石上 朋子 (助産師) (2)	(2)
				④ 塩川 紗衣 (助産師) (4)	(4)
				⑤ 笹川 みちる (看護師) (10)	(10)
				⑥ 水谷 宗行 (名誉教授) (8)	(8)
目 標					
産褥・新生児期における母子助産過程の展開に必要な診断と技法、および助産の実践に必要な基本技術を修得することが出来る。					
回	時間	項目	授業内容	授業方法	講師
1	2	産褥期の助産診断と助産過程の展開 【事例学習】	1) 産褥期の助産診断、診断類型 2) 経過診断 産褥復古の診断 3) 健康生活診断 基本的ニード、心理的側面、社会的側面、出産育児行動	講義	① 並崎 直美
2	2		4) 産褥期の助産診断(京野 都さん事例) ①産褥1日目の助産過程の展開1 パラグラフ1	講義 GW	
3	2		②産褥4日目の助産過程の展開2 パラグラフ2	講義 GW	
4	2	新生児期の助産診断と助産過程の展開	1) 新生児期の助産診断、診断類型 2) 経過診断 胎外生活適応の診断(生後24時間以内) 新生児の成熟度評価 (外表的所見、神経学的所見) 生理的黄疸、生理的体重減少の診断 正常逸脱の診断とケア 3) 健康生活診断 養護、環境 4) 新生児期の助産診断(京野 都ベビー事例) ①生後24時間以内の助産過程の展開1 パラグラフ1	講義 GW	
5	2		②生後4日目の助産過程の展開2 パラグラフ2	講義 GW	

6	2	産褥期の助産技術	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥復古を促す援助 2) 日常生活の援助 栄養、排泄、睡眠、動静、清潔 不快症状とセルフケア 3) 育児、家庭生活へ向けての援助 入院中の保健指導：育児、授乳 産後の動静、性生活、家族計画 4) 親役割獲得の援助 母子・父子関係 5) 退院後の継続ケアと地域社会資源との 連携 	講義	②川上 起久子
7	2	産褥期の正常経過からの逸脱の診断とケア	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥の正常逸脱が予測される分娩時の 状況とリスク査定、予防、早期発見・ 対処 <ul style="list-style-type: none"> ①分娩に伴う損傷 (会陰裂傷Ⅲ度以上、外陰部血腫) ②弛緩出血後 ③子宮復古不全 胎盤ポリープ、晩期産褥出血 ④産褥熱、尿路感染症 ⑤恥骨結合離開 ⑥マタニティブルー、産褥精神障害 ⑦乳腺炎 	講義	
8	2		<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥期の乳房の変化と乳汁分泌の生理 2) ポジショニング、ラッチ・オン 3) 母乳栄養確立への支援 4) 人工栄養 	講義	③石上 朋子
9	2		<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥の正常逸脱が予測される分娩時の 状況とリスク査定、予防、早期発見・ 対処 <ul style="list-style-type: none"> ⑧静脈瘤、塞栓症 ⑨帝王切開術後のケア 	講義	④塩川 紗衣
10	2	心理・社会的問題をもつ褥婦のケア	<ul style="list-style-type: none"> 1) 産褥うつスクリーニング (EPDS) 2) 虐待のリスク査定と多職種連携 3) 特定妊婦の地域連携 	講義	
11	2	6. 新生児期の助産技術	<ul style="list-style-type: none"> 1) 新生児の健康診査法、諸計測 2) 新生児の沐浴の実際 新生児の沐浴技術 リフレクション 	演習	②川上 起久子 技術試験 (沐浴)
12	2				
13	2				

14	2	7. ハイリスク 新生児の診断 とケアの実際	1) 入院受け入れ準備 ①情報収集・分析・予測 ハイリスク新生児の助産診断に必要な 基本情報 ②リスク評価 2) 準備 ①分娩室・手術室の準備 ②NICUの準備	講義	⑤笹川 みちる
15	2	7. ハイリスク 新生児の診断 とケアの実際	2) 出生～急性期の助産診断・ケア ①出生時の診断・ケア ②急性期の診断・ケア	講義	
16	2		3) 回復期・慢性期の助産診断・ケア ①呼吸・循環管理 ②体温管理 ③栄養管理 ④合併症に対するケア (未熟児網膜症、未熟児貧血等) ⑤親子関係発達促進のケア	講義	
17	2		4) 退院時期の助産診断・ケア ①障害なく退院する児・家族へのケア ・親子関係発達促進のケア ②地域連携 ・障害を持って退院する児・家族へのケ ア ・医療的介入が必要なまま退院する児・ 家族へのケア ・死亡退院の場合の児・家族へのケア 5) ハイリスク新生児のケアにおける助産 師の役割 ①ハイリスク新生児のケアの原則 ②ハイリスク新生児のケアと倫理的課 題 ③NICUの管理	講義	
18	2		6) ハイリスク新生児のケア【演習】 ①保育器の原理、取扱いの実際 ②入院受け入れ～急性期ケアの実際 ③保育器収容中の児のケアの実際 観察、環境調整、おむつ交換、 ④ディベロップメンタル・ケア	演習	

19	2	8. 新生児・乳幼児の認知・精神運動・情意の発達	1) ヒトの特徴について	講義	⑥水谷 宗行
20	2		2) 乳児にとってのヒトとモノの世界	講義	
21	2		3) 乳児とヒトとのコミュニケーション	講義	
22	2		4) ことばの獲得過程	講義	
23	1		筆記試験 (45分)		①
評価方法		<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験 80点 (講師① 20点、講師② 20点、講師⑤ 20点、講師⑥ 20点) ・技術試験：沐浴技術 20点 (講師②) *筆記試験、技術試験をそれぞれ合格することで単位認定する。 履修規程第5条、第6条に定めるとおりとする。 			
テキスト		講師①② <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 7 ・助産学講座 8 ・助産師基礎教育テキスト 6 ・助産師基礎教育テキスト 7 講師③ <ul style="list-style-type: none"> ・母乳育児支援スタンダード ・助産学講座 7 ・助産師基礎教育テキスト 6 講師④ <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 7 ・助産師基礎教育テキスト 6 ・助産師基礎教育テキスト 7 講師⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 8 ・助産師基礎教育テキスト 7 講師⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・助産学講座 8 			
参考図書等		<ul style="list-style-type: none"> ・マタニティ診断ガイドブック ・助産業務ガイドライン 2019 「正常分娩急変時のガイドライン」 ・NICU ナースのための必修知識 			
備考		<ul style="list-style-type: none"> ・事例学習は予習を前提として授業に臨むこと。 ・講師の授業時期は並行あるいは前後することがある。 ※この科目は実務経験のある教員による授業科目である 			